

6 授業科目の目的および講師

	科 目	単位数	時間数	目 的	講師所属
人間と社会	人間の尊厳と自立	2	30	人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解する。	専任教員
	人間関係とコミュニケーション	2	30	介護実践に必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーションの能力を養う。	専任教員
	チームマネジメント	2	30	介護実践にチームマネジメントが必要とされる背景や、チームマネジメントの基本的な考え方を理解する。	専任教員
	社会の理解Ⅰ	2	30	社会と生活のしくみや、地域共生社会の実現に向けた制度や施策について理解する。介護保険制度、個人情報保護や成年後見制度などの介護実践に関連する基礎的知識を習得する。	専任教員
	社会の理解Ⅱ	2	30	障害者保健福祉と障害者総合支援制度について、基礎的知識を習得する。わが国の社会保障の基本的な考え方、歴史や変遷、しくみについて理解する。	専任教員
	レクリエーション	2	30	介護福祉サービスにおけるレクリエーションの意義について理解する。レクリエーションの援助・活動の実際と役割などについて理解する。	専任教員
	国語表現	2	30	言葉の大切さを認識し、正しく遣うことができるようにする。実習日誌などの記載時に備え、書き言葉を覚え、実際に書くことができるようになる。	外部講師
	情報処理演習	2	30	福祉現場でも求められているパソコンの基礎的知識の習得に努め、” Word” ” Excel” を使いこなすことができる。	外部講師
小計		16	240		
介護	介護の基本Ⅰ	8	120	「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を学び、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉え、安全やチームケア等について理解する。	専任教員
	介護の基本Ⅱ	4	60	人間や社会を理解する視点から介護の専門性を理解する。また、利用者が安心して生きがいの持てる生活が営める生活環境を整えることが可能となるような、関係職種との連携のあり方等を理解する。	専任教員
	コミュニケーション技術Ⅰ	2	30	援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者やその家族、また多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。	専任教員
	コミュニケーション技術Ⅱ	2	30		
	生活支援技術Ⅰー1	2	30	その人らしく生きるための生活環境づくりをすることで、生活の楽しさや生活の支障の解決についてともに分かち合うことができる。	外部講師
	生活支援技術Ⅰー2	4	60	個人に合わせた食生活をする中で、利用者自身が食生活の楽しさや健康であることの重要性を感じ、その人らしく生きるための支援ができる知識・技術を身につける。	外部講師
	生活支援技術Ⅱ	12	180	どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を身につける。	専任教員
	生活支援技術Ⅲ	4	60	障害について、それぞれの障害の理解を深め、自立支援の必要性和その人らしい生活を支えるための基本的な介護技術を習得する。	外部講師
	介護過程Ⅰ	4	60	介護過程の意義・目的・展開プロセス・基本視点を理解する。	専任教員
	介護過程Ⅱ	4	60	他の科目で修得した知識・技術を統合し、介護過程の思考過程をふまえた個別支援計画が展開できるようになる。	専任教員
	介護過程Ⅲ	2	30	実習で担当した利用者の個別支援計画書をもとに事例検討会を行い、現場で必要な介護過程が展開できるスキルを身につける。	専任教員
	介護総合演習Ⅰ	2	30	介護実習に向けての心構え、予備知識、動機付け等の準備を行う。また、実習の振り返りを通じて、利用者理解や専門職としての在り方を深める。	専任教員
	介護総合演習Ⅱ	2	30		
	介護総合演習Ⅲ	2	30		
	介護総合演習Ⅳ	2	30		

	介護実習Ⅰ－1	2	72	地域における様々な場において利用者の生活を理解し、利用者の自助におけるニーズと介護の機能ならびに施設・事業所等職員の一般的な役割について知る。	専任教員
	介護実習Ⅰ－2	3	96	利用者との人間的ふれあいを通じて、利用者の自助におけるニーズと介護の機能を知るとともに、利用者を理解するための視点及び介護の実際を学ぶ。	
	介護実習Ⅱ－1	4	144	利用者をＩＣＦの視点から捉え、介護計画立案までの基本的な思考を身につける。また、夜間実習を通して、利用者の24時間の暮らし、介護職員や多職種との連携などについて学ぶ。	
	介護実習Ⅱ－2	4	144	利用者のニーズに沿って、一連の介護過程を展開し、本人主体の生活と自立を支援する実践力を身につける。	
小計		69	1296		
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅰ	2	30	人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を習得する。	外部講師
	発達と老化の理解Ⅱ	2	30	老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基本的知識を習得する。また、高齢者に多い疾患や老化に伴う機能低下が日常生活に及ぼす影響について理解し、生活支援技術の根拠となる知識を習得する。	専任教員
	認知症の理解Ⅰ	2	30	認知症を取り巻く状況、認知症ケアの理念と視点を理解する。また、認知症に関する基礎的理解、認知症の症状・診断・治療・予防について習得する。	外部講師
	認知症の理解Ⅱ	2	30	認知症の人の日常生活を支えるケアの実際を知り、家族支援・多職種連携などについて理解する。	外部講師
	障害の理解Ⅰ	2	30	障害のある人の心理や身体機能に関する介護実践に必要な基礎的知識を習得し、障害のある人の体験を理解できる。	専任教員
	障害の理解Ⅱ	2	30		
	こころとからだのしくみⅠ	2	30	生活支援のために必要な人間の身体について、その解剖や生理的機能、身体の動きのメカニズムを理解し、合わせて介護福祉士が生活支援の立場で知るべき医療関連知識を習得する。	専任教員
	こころとからだのしくみⅡ	2	30	移動・身じたく・入浴・食事・休息睡眠に関連したしくみについて理解する。各場面における一連のプロセスを捉え、その根拠を考えることで支援の仕方を明確につかんでいく。	専任教員
	こころとからだのしくみⅢ	2	30	食事・排泄・睡眠に関連したしくみについて理解する。各場面における一連のプロセスを捉え、その根拠を考えることで支援の仕方を明確につかんでいく。	専任教員
	こころとからだのしくみⅣ	2	30	こころのはたらきやしくみ、心理学的な側面から心身の理解をする。生物学的な死からそれぞれの死生観を捉え、死に対するこころの理解を考える。	外部講師
小計		20	300		
医療的ケア	医療的ケアⅠ	4	70	医療チームの一員として、医療的ケア（介護職員等によるたんの吸引等の実施）が安全・適切に実施できるような必要な知識の習得を目指す。	専任教員
	医療的ケアⅡ	2	30	医療チームの一員として、医療的ケア（介護職員等によるたんの吸引等の実施）が安全・適切に実施できるよう確実な技術の習得を目指す。	専任教員
小計		6	100		
その他	総合演習Ⅰ		90	国家試験同様に模擬試験を受け、振り返りをしていくことで、介護福祉士国家試験合格を目指す。	専任教員
	総合演習Ⅱ		30	チューター制での学習や各科目担当の国家試験対策を通し、介護福祉士合格を目指す。	
	手話	1	20	手話を必要とする聴覚障害者について理解し、支援のあり方について学ぶ。日常会話で必要な手話を習得する。	外部講師
	ビジネスマナー		15	社会人としての基本的な接遇マナーを身につける。	外部講師
	就職実務		38	進路希望先を明確にすると共に、就職活動の流れに沿って対策を行い、準備を整えさせる。また、採用内定後の心得について指導する。	専任教員 キャリアサポート室
小計		1	193		
合計		112	2129		